

日光御成道チャレンジ強歩をはじめとする地域に根差した教育活動



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
さいたま市立 大門小学校	大門小学校学校運営協議会 令和2年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 1名	大門小学校SSNプラス(スクールサポートネットワーク)



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校学区は、江戸時代より日光御成道の4つ目の宿場、『大門宿』として栄え、現在も街道沿いに大門宿本陣表門(埼玉県指定史跡)と脇本陣(市指定有形文化財)が残されている。6年間を通して、子どもたちが自分が住んでいるこの大門の地域に関心や誇りを持ち、その歴史や地域のよさを知ることを通して地域を大切にすることを育てていきたいと考えた。

目標や目指す姿(学校)

笑顔いっぱい、みんなに愛される大門小学校
～学び、鍛え、夢を育む～

目標や目指す姿(地域)

「地域とともにある学校づくり」家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健全育成の推進をめざす



大門小学校学校運営協議会の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 近隣中学校長 | <input type="checkbox"/> PTA顧問 |
| <input type="checkbox"/> 近隣幼稚園長 | <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 |
| <input type="checkbox"/> チャレンジ教室代表 | <input type="checkbox"/> 学校代表 |
| <input type="checkbox"/> 主任児童委員 | など、計 15 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 青少年育成大門地区会代表 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校運営協議会、SSN、各団体が役割を分担して、本校の学校行事である「チャレンジ強歩」をそれぞれの立場で主体的に運営することができている。

第1回学校運営協議会で承認をしていただいたのち、共催3者で当日までの実務について具体的な打合せをした上で、SSNで協議をすることとした。各団体はさらに詳細についてそれぞれ話し合うことができている。第2回学校運営委員会では、決定した事項について周知を図ることで円滑に準備を進めることができている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

上記の背景を踏まえて、6年間の教育活動の中で地域の人材を活用することができるよう、学校地域連携コーディネーターが人材バンクを随時更新し、学校はクロスカリキュラムを作成している。これらの内容を学校運営協議会で周知し、効果的に協力いただくことができている。



5年生田植え

地域学校協働活動

見守りスタッフはコース上での児童の安全を確保、休憩所では飲み物等の提供、同行スタッフは児童と共に歩き、昼食をとる中で、数多くの交流が生まれている。行事を通して地域の方が自分たちを支えてくれていることを実感することができる。



休憩所でスタッフとふれあい

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校が「日光御成道チャレンジ強歩」という本校の立地と歴史を生かした独自の行事を企画立案し、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、共催3者(学校・PTA・青少年育成会大門地区会)の打合せ会、反省会等、行事開催に向け、計画的に話し合う場を設け、それぞれの立場から具体的に助言してもらうようにした。

取組

成果・効果

学校と家庭、地域が一つになって取り組むことで、家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健全育成を推進することを目指すことができている。また、歴史ある地域を生かした教材開発を行い、「生活科」「総合的な学習の時間」において、地域を主軸に、横断的な学習を実施することにより、社会に開かれた教育課程の実現を目指すことができている。今後もこの取組を通じて、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」、目標3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたいと考えている。

【保護者・地域の声】

- ・チャレンジ強歩などで、保護者、地域、学生ボランティア等が一体となって取り組めるのはこの学校ならではのありとてよい。
- ・チャレンジ強歩は地域の連携や地元の歴史も学べ、体力向上も期待できるともいい企画だと思う。
- ・地域との関わりが深い学校であるため 周りが協力体制である事がよくわかる。
- ・チャレンジ強歩は、特色あり、地域、家庭も巻き込んだ行事になっていると思う。
- ・チャレンジ強歩という行事に参加して多くの子どもを見守るサポート体制が横断されて過ごしているんだなと知る機会になり感激した。